



クリプト便



クリプト便 ファイル共有 QA集

弊社に寄せられるファイル共有サービスへの課題感と クリプト便が実現できること

2022年12月15日 新規作成

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

ソフトウェア第一事業本部

ファイルセキュリティ事業部

クリプト便カスタマーサクセスチーム

Q1

ファイル共有の利便性や生産性が高いのはわかりますが、これまで使ってきたファイル転送に比べてセキュリティ上のデメリットはないのでしょうか？

A 共有の役目を終えた不要なファイルが蓄積しやすく、共有設定の陳腐化やヒューマンエラーによって情報漏洩の被害規模が拡大しやすい点に注意が必要です

- 簡単な操作でフォルダ丸ごと他者と共有できる利点は、些細な操作ミスや悪意によってフォルダを丸ごと漏洩するリスクになります
 - ✓ **フォルダ整理が破綻し死蔵ファイルが増える**
 - フォルダを階層化して作成していくと、階層が深いファイルは見つけづらく、全員が正しくフォルダ分けルールを維持徹底するのが難しい
 - ✓ **特殊な権限がついたサブフォルダが増える**
 - サブフォルダの数だけアクセス権限のパターンが違う可能性がある。正しい権限状態を維持・把握し続けるのが困難
 - ✓ **フォルダ丸ごと誤共有や悪意ある持ち出しの対象になる**
 - 多くの利用ユーザのうち誰かひとりの不注意により外部に対して必要以上の機密ファイルをあやまって共有するリスクが高まる

Q2

ファイル共有のセキュリティ上のデメリット（Q1の回答）に対し、
クリプト便のファイル共有はどんな対策があるのでしょうか？

A クリプト便のファイル共有は、 unnecessary ファイルや権限がクラウドサービス上に自然と残り続けないようにするためにさまざまな仕掛け（機能）を用意しています



✓ サブフォルダの作成を標準で禁止

- ユーザーが現実的に管理可能なファイル規模にとどめ、管理の目が届く仕掛け

✓ 個人がプライベートに使える領域なし

- 共有が必要ないファイルをクラウド上にアップロードさせない仕掛け

✓ ファイル棚卸支援

- 指定された日数の間、誰にもダウンロード・編集されていないファイルを自動的にごみ箱に移動。定期的にファイルの整理を促すことで、古いファイルの放置を防ぎ、リスクの低減や整理整頓に役立つ仕掛け

✓ ストレージ容量は有限

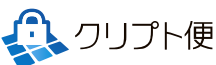
- クラウド上のファイルの新陳代謝を促し、真に共有が必要なものだけが存在する仕掛け

Q3

サブフォルダを作成できないクリプト便のファイル共有では
ファイルの検索性が悪くならないでしょうか？

A ファイル一つ一つに管理上の分類情報（ファイルプロパティやラベル）を付与し、フィルタ機能によって効率的に絞り込み検索が可能です（Outlookの“検索フォルダ”やGmailの“フィルタ検索”の使い方に似た機能です）

▼フォルダ検索とフィルタ検索の違い



絞り込み方法	フォルダ	フィルタ
検索の手がかり	フォルダツリー (フォルダ名とその階層情報)	ファイルに関連付けた分類情報 (ファイルプロパティやラベル)
検索方法 例：Aさんが作成した 見積書 X_見積書.pdf Y_見積書.pdf	フォルダツリーを辿って絞り込み 	一つまたは複数の分類情報の組み合わせで絞り込み
特長	<ul style="list-style-type: none">• 普段のファイル管理に馴染みある操作• 所定の分類ルールで整理されたツリー構造を優先してファイル配置するため、「担当者」など他の横断的な分類で検索する際に検索効率が悪化する	<ul style="list-style-type: none">• メールの検索方法として採用されている操作• ファイルに付与すべき分類情報をツリー構造に左右されず自由に関連付けできる• 分類属性を条件に直接絞り込むため、ツリーの行き来なく効率的にファイル検索可能

X社向け見積書.pdfの分類

分類 1 | プロパティ (自動設定)

サンプル

ファイル名	X社向け見積書.pdf
登録日	2022/12/1 12:00
登録者	社員A
最終更新者	社員B

／ プロパティ (自動設定)

ファイルごとに必ず属性と値が付与され、ファイル登録・更新時に自動設定されます

分類 2 | ラベル (自由設定)

サンプル

X社	見積書
関係者限	

／ ラベル (自由設定)

ファイルの識別用に付与する属性です
ボックス管理者等が予め作成したラベル候補の中からラベルをファイルごとに設定します

ご参考 | クリプト便のファイル共有画面構成



シンプルでわかりやすい画面構成でどなたでも簡単にご利用いただけます。

グループの切替

送信・共有の切替

共有ファイルの表示

ボックス一覧表示

クリプト便

ファイル共有

グループ切替

ファイル共有

検索

共有ファイル

エリア

共有ファイル

すべてのファイル

新着

ごみ箱

ボックス名で検索

共有ファイルの表示

ファイル名	更新日時	サイズ
クリプト便概要資料_ver2021-0913.pdf	2021/9/29 13:52	3.9MB
資料A.docx	2021/9/29 13:54	12KB
資料B.docx	2021/9/29 13:54	12KB

プロジェクトA

ボックス情報

ボックス種類: コラボレーション

ストレージ使用量: 4MB

自動削除設定

自動ごみ箱移動機能: 利用しない

自動削除機能: 利用しない

ファイル追加

ボックス=ファイル置き場

ボックス毎に共有相手を管理可能

ボックス選択時

→ボックス情報、公開先の表示

ファイル選択時

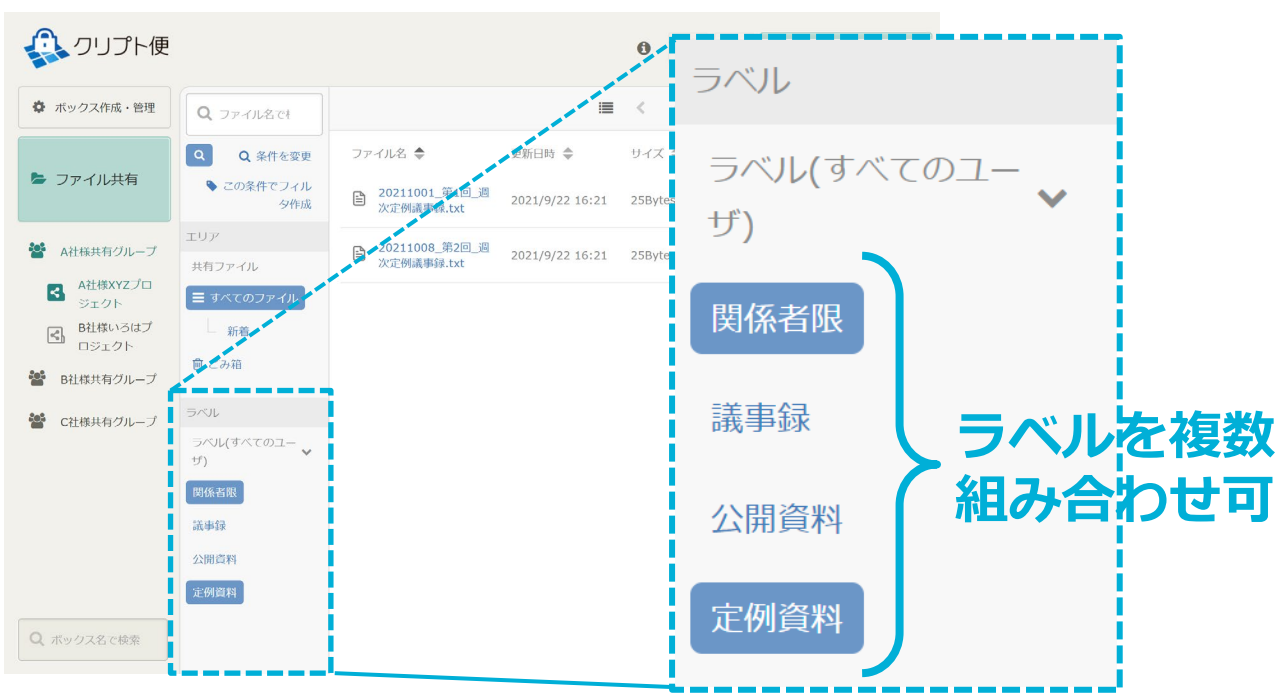
→ファイル情報の表示

ご参考 | クリプト便のファイル共有 フィルタ検索の画面イメージ

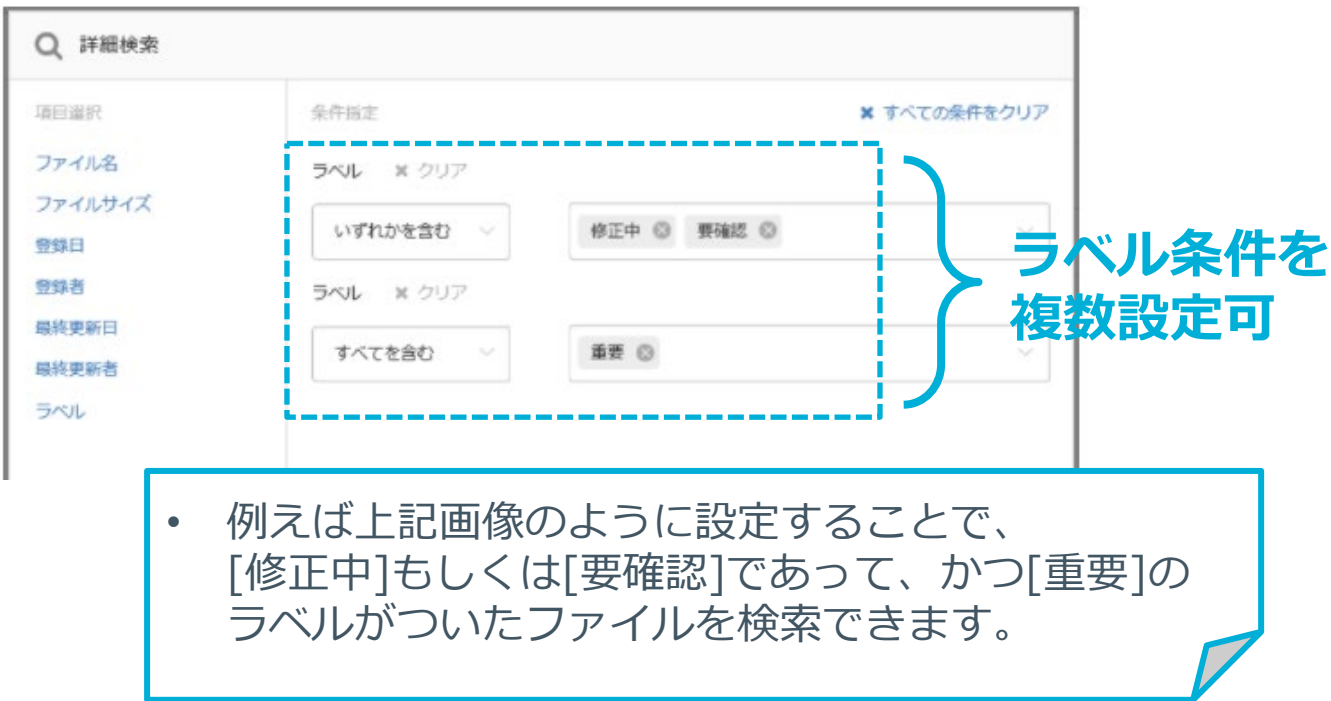


- ① ファイル一覧画面のラベルエリアからラベルを一つ～複数選択すると、条件に合致したファイルを絞り込みできます
- ② 詳細検索ではプロパティやラベルを使った検索条件を複数設定できます。
 - これにより、例えばラベル条件1とラベル条件2の関係を組み合わせ、より細かい条件でファイル検索ができます。

① ラベルによる絞り込み例



② 詳細検索による絞り込み例



Q4

共有の役目を終えたファイルをクラウド上に残さないセキュリティメリットはわかりますが、現場担当者にこまめに削除してもらうのは業務負担が高くないでしょうか？

A クリプト便のファイル共有には、一定の条件に合致したファイルを自動でゴミ箱に移動・削除する棚卸支援機能があるため、業務負担を高めずにセキュリティリスクを低減できます



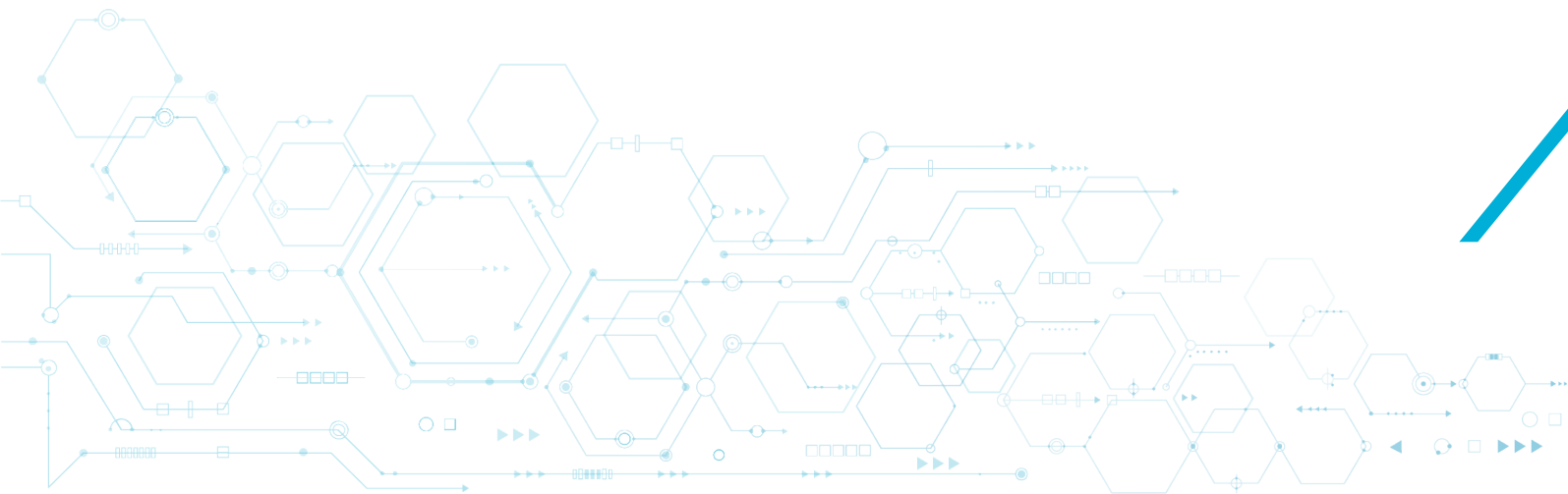
- 共有の役目を終えた、と見なす一定の条件として次を設定できます

- ✓ 最終アクセス日 から ○○○ 日経過したファイル
- ✓ 登録日 から ○○○ 日経過したファイル
- ✓ 全共有先に取得されて から ○○○ 日経過したファイル (※)

※「揭示ボックス」でのみ設定可能な条件です

- 上記条件設定は「セクション管理者（システム担当者等）」が任命した「ボックス管理者（現場担当者）」が行います

- ✓ 削除条件は業務へ悪影響がないよう、個別のプロジェクトを理解して設定すべきですが、少数のシステム担当者が個別の業務に精通するのは困難です
- ✓ そこでクリプト便では業務負担を分散し、実態に即して条件指定を行えるよう、現場担当者に権限を移譲できる仕組みとなっています。



/NRI SECURE/